

令和2年度 年間教科シラバス

中学・高校	中学	学年	2	年			
教科	音楽	科目	音楽	単位数	1		
担当者	全組	中野 恭子					
教科書	中学生の音楽2・3上/中学生の器楽(教育芸術社)		副教材				

○学習到達目標

表現(歌を歌う・演奏する・創作する)及び鑑賞(色々な音楽を聴く)の幅広い活動を通して、音楽を愛する心を育てると共に、音楽を感じ取る感覚を豊かに養い、音楽活動の基礎的な能力を伸ばしていくことが目標です。

○教科道徳教育到達目標

斉唱や合唱の活動を通じて、他と声を合わせて美しいハーモニーを創り上げることの喜びを知り、他を認め協調する精神や、美しいものを追求する精神を養う。

○学習方法

- A. 表現 ①歌唱(歌う)・・・歌うことはもっとも大切な活動で、音楽表現の基礎になるものです。発声の仕組み・呼吸と姿勢・変声期について等、歌唱の基本を身につけて自然で豊かに響く歌声を探していきます。
②器楽(演奏する)・・・器楽はアルトリコーダーを中心に使います。奏法(指使い・タンギング・呼吸法など)も少し詳しく学習していきます。
- B. 鑑賞 ①教科書の内容にそって、日本と西洋の伝統的な音楽を鑑賞します。
②その他、世界各地の民俗音楽を鑑賞します。
- C. 楽典 楽譜の書き方・読み方等、音符や記号の持っている意味を少し詳しく勉強します。

○グレード別授業の基準

グレード別授業は実施しません。クラスごとの授業となります。

○指導計画(学習内容・考查等の予定)

1学期	2学期	3学期
オリエンテーション	合唱・リコーダー 「フィンランディア」	鑑賞・リコーダー 「威風堂々」
合唱・リコーダー 「帰れソレントへ」 「サンタルチア」 「きみとともに」	交響詩「フィンランディア」鑑賞 「ラバースコンチェルト」 「ふるさと」	合唱・リコーダー 「旅立ちの日に」
楽典 音符・休符・音楽用語 復習	鑑賞・リコーダー 「越天楽」	斉唱 君が代
		楽典 楽典の総復習

※年間を通して、「実技テスト」を適宜実施します。(授業時)

○評価方法

各学期ごとに、実技テスト・ルーブリック評価を行い、学期成績を算出し、すべての学期成績の平均を学年成績とする。
(実技テスト50% ルーブリック評価50%)
※ルーブリック評価観点表は別紙参照

観点	評価段階				
	評価項目	A	B	C	D
知識及び技能	斉唱・合唱・リコーダーの基本的技能(実技テスト)	演奏の技能が大変優れており、極めて正確に演奏できる。 (80点以上)	演奏の基本的技能が身に付いており、概ね正確に演奏できる。 (65点以上)	演奏の基本的技能があまり身に付いていないため、正確に演奏することはできなかった。 (50点以上)	演奏の基本的技能を身につけようという気持ちがなく、誠実に演奏することができなかった。 (49点以下)
	楽典の基本的知識(実技テスト・評価シート)	正確に身に付いており、演奏にも活かされている。	概ね身に付いており、演奏に活かそうとしている。	あまり身に付いていないが、前向きに取り組んでいる。	ほとんど身に付いていないばかりか、全く身に付けようとしていない。
思考力・判断力・表現力等	表現の創意工夫(実技・自己評価シート)	創意工夫を積極的かつ効果的に取り入れている。	創意工夫を積極的に取り入れようとしている。	創意工夫はあまり感じられない。	はじめから創意工夫を取り入れようとしていない。
主体的に学習に取り組む態度	学習態度	<ul style="list-style-type: none"> ・授業において他の生徒との協働の中心となり、全体の理解を深める役割を担う ・発問に対して意欲的に考え、聞き手を納得させる根拠を持った発言をする ・発言を意欲的に聞き、自分の意見と比較し、自分の考えを深める 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業において他の生徒と協働し、意欲的に理解し合う ・発問に対して意欲的に考え、発言する ・発言を意欲的に聞き、自分の意見を持つ 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業において他の生徒と協働し、意欲的に理解し合おうとする ・発問に対して意欲的に考え、発言しようとする ・発言を意欲的に聞き、自分の意見を持とうとする 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業において他の生徒と協働し、意欲的に理解し合おうとしない ・発問に対して意欲的に考え、発言しようとする ・発言を意欲的に聞き、自分の意見を持とうとしない
	授業準備	与えられた課題に対し、自主学習を行い、期限内に提出できている。	与えられた課題を期限内に提出できている。	与えられた課題を、期限後ではあるが提出できている。	与えられた課題の提出ができていない。
	授業中	各活動に積極的に参加し、分からないところがあれば質問、または調べたりしながら理解につなげようとしている。	授業中の各活動に参加し、理解しようとしている。	授業中の各活動への取り組み方が物足りない。理解しようという姿勢が乏しい。	授業中の各活動に全く取り組んでいない。